

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月3日

【評価実施概要】

事業所番号	0270201197
法人名	バンドーウエルフェアグループ株式会社
事業所名	グループホームバンドー弘前城東
所在地 (電話番号)	〒036-8085 青森県弘前市末広4-1-6 (電話) 0172-29-2666

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年11月18日	評価確定日	平成22年2月3日

【情報提供票より】(平成21年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 7月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤 16人, 非常勤 5人, 常勤換算	15.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2階建ての 1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	26 名	男性 9 名	女性 17 名
要介護1		要介護2	13 名
要介護3	11 名	要介護4	2 名
要介護5		要支援2	名
年齢 平均	79.9 歳	最低	60 歳
		最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高橋内科、デンタルクリニック佐藤
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>大型商業施設や卸売市場が近くにあり、建物の周りにはアパートや企業が多い。事業所は以前企業であった建物を改造したつくりで、3ユニットが入っているが、ユニットごとに特徴があり、独自の雰囲気がある。リビングには食卓セットの他に、ソファも置かれ、廊下にもちょっとした椅子を置いて思い思いにくつろげるようになっている。医療連携体制加算を取っており、訪問看護サービスと契約し、看護師が訪問して健康管理の相談にのったり、受診にも付き添ってくれるなどの対応もしている。法人本部には車もあり外出時には車を利用している。民間のセキュリテイ会社と契約しており異常発生時には、迅速に対応できる体制になっている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域密着型サービスとしての理念作りに全職員で理解を深め、本部の理念に加えてユニットごとに理念を掲げて小・中学校と交流を持つなどされている。ただ、立地条件もあるが、事業所側から、近くの住宅地に出向き交流を持ちながら事業所を理解していただく努力を期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービスを振り返る機会として外部評価を捉え、改善が必要な点があれば、改善に向け積極的に取り組んでいる。自己評価は職員一人ひとりが意見を出し合い管理者がまとめている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1回地域包括支援センター、市担当者、隣接する他地域の町内会長、家族、利用者が参加し意見を出し合い、サービスと資質向上に努めている。事業所側からは外部評価の結果や行事等の報告をしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>面会時に家族の意見や苦情を引き出せるように、普段から話しやすい雰囲気作りのため声かけを行っている。また、運営推進会議でも意見や苦情が言えることを伝えている。出された意見は、職員で話し合い運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣の小・中学校との交流、ボランティアの受け入れは行っているが、事業所周辺がアパート、大型商業施設、市場などが立ち並んでいるため地域との交流が難しく、認知症の普及活動には消極的である。もう少し事業所からの積極的な働きかけを期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解し、家庭的な雰囲気の中で明るく、楽しく、元気である事を念頭に置き各ユニットごとに理念を掲げ支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回定期的に全職員参加のカンファレンスや、内部研修でも理念について話し合いを行っている。又、日々の生活の中で理念を意識しながら支援し、再確認出来るよう掲示されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣の小、中学校との交流、ボランティアの受け入れなどは行っているが、事業所周辺はアパート、大型商業施設、市場などが立ち並び地域との交流が難しく、地域交流や、認知症の普及活動には消極的である。		地域交流が難しい立地条件の中で、事業所から地域に積極的に出かけたり、近所の市場などを利用し、食材の発注を行っている事から地域住民との係りを深め、キャラバンメイト的役割を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>サービスを振り返る機会として外部評価を捉え、改善が必要な点があれば改善に向け積極的に取り組んでいる。又、自己評価は職員一人ひとりが意見を出し合って管理者がまとめている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回、地域包括支援センター、市町村関係者、他地域の町内会長、家族、利用者が参加され意見を持ち寄ってサービスの資質向上に努めている。会議録は職員が確認出来るように保管されている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>必要があれば市町村関係機関などに連絡する時もあるが、基本的には本部の窓口担当者が行政に確認をし、課題解決されサービスの質の向上に努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護や成年後見制度の研修参加、勉強会などの必要性は理解しており、年間行事計画に盛り込み学習会開催予定にはなっているが、まだ実施されていない。</p>		<p>年間行事計画に盛り込み、学習会が行われる予定となっているため、今後は職員の資質向上と必要な時に情報提供できる体制作りを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に対しては日々の生活の中で声がけなどにも配慮はしているが、基本的高齢者虐待防止法などの学習会は開催されていない。</p>		<p>今後勉強会やミーティングを定期的で開催しながら、高齢者虐待防止法に関する理解や遵守に向けた取り組みが望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前に事前に訪問し詳細に説明を行っているほか、契約時には改めて重要事項説明書を十分説明し納得していただいた上で契約を交わしている。家族が不明に思う事に関しては十分説明し理解を得るよう心がけている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>本部より定期的に応報が発行され、面会に来られない家族に関しては現在の様子を手紙で伝える様になっている。又、金銭管理状況では出納簿など、毎月1回家族へ報告を行っている。状況に応じて現在の生活状況、健康状態などを電話で報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議開催について家族へ呼びかけている。又、面会時に家族の意見、苦情を引き出せるよう普段から話しやすいように声かけを行っている。出された意見に関しては職員で話し合い運営に役立てている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者とのより良い関係を構築する為、職員の異動はしないように配慮している。離職する職員がいる場合は利用者の事を考え、馴染みの職員が寄り添って支援するよう心がけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画に盛り込み内部研修の勉強会は開催されているが、職員の外部研修への参加が少ない。		運営者は職員の質の確保と向上のため、職員と話し合いながら、段階に応じた外部研修に参加できるように配慮されることを期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人との交流・勉強会はあるが、他法人との交流や勉強会がほとんど無い。		同法人との交流、連携を図るだけでなく、他法人の事業所との交流によって資質向上と、より良い支援が出来る事を期待したい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本部担当者が中心となり訪問、必要に応じて管理者も同行し家族、本人との面会や、ホーム見学など支援されている。入居後はコミュニケーションを図りながら安心して生活出来るよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の趣味、得意分野を活かし、共に協力しながら食事の準備、後始末などをし活動的に生活されている。調理などの面では学ぶ事も多く、職員が教わりながら一緒に楽しんで共感しながらより良い関係を構築している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中での言動や表情から意向の把握に努めている。困難な利用者の中には、家族等から情報収集をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	面会時には家族、本人の意向を確認し月1回は全職員で話し合い、アセスメントを行っている。長期目標6ヶ月、短期目標3ヶ月と決めて定期的にモニタリングも実施し、より良い支援が出来るよう計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族や利用者からの要望、日々の生活の中で状況の変化が見られた時には随時計画書を見直し、職員とも話し合って計画書の作成を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	訪問看護ステーションとの連携で週1回看護師が来て健康状態の把握や必要に応じて病院受診の支援をしている。家族が遠方から面会に来た際一緒に泊まることも可能である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みのかかりつけ医に受診出来るよう支援されている。病院受診時は本部と連携を取り送迎などの支援、受診の結果に応じては家族に連絡し情報を共有している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居契約時には看取り、重度化への対応など本人、家族、関係者と話し合い確認し合っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	契約時に本人、家族から個人情報同意に関して細かく確認し許可を得ている。記録物は所定の場所に管理されている。日々の生活の中ではさりげなく声かけ、誘導を行い、他入居者に気づかれないようにしている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活歴を把握した上で本人のペースや希望を尊重し支援されている。おはぎ作りの得意な方が、おはぎを作るなど、利用者が日々の生活の中で楽しみを得られるよう対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と職員と一緒に準備や後片付けなど、役割分担もあって楽しい雰囲気作りがされている。食事と一緒にとり、食事中は声がけしながらも器など移動し、食べやすいように支援されている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>最低週に2回以上入浴出来るよう支援している。本人、家族の要望があれば時間的にずれる事はあっても毎日入浴出来る体制が整っている。夏場など暑い時はシャワー浴が毎日可能となっている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事に関しては準備、後片付けなど役割分担が出来ており、職員と一緒にいる。又、趣味などを活かした作品作りなども行われ、それらを展示し見ても楽しみが得られるよう支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天候に応じて近くの公園まで散歩をしたり、買い物などは希望に沿うよう支援している。又、ドライブなどの外出もあり、日々の生活に張り合いを持たせている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>年間計画の中で内部研修の勉強会が開催予定となっているが、基本的な禁止となる行為など職員全員に周知されるまでになっていない。</p>		<p>今後権利擁護や身体拘束に関しての勉強会を開催し、職員間での共通認識を持ちながら事業所内で確認していくことを期待したい。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>正面玄関の鍵はしていないが、各ユニット毎に家族の同意を得て施錠は行っている。各ユニットはそれぞれの生活の場として安定しており、それぞれが特徴もあり和やかに生活している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回は消防機器訓練を行い、各ユニットでは毎月1回夜間想定で通報訓練を行っている。民間セキュリティ会社との契約もしており防犯的役割も重要となっている。非常用食料などの備品の準備も整えている。</p>		<p>消防署や地域住民の理解と協力のもとで避難訓練が実施される事を期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量を把握し、ケース記録に記載されている。水分量も1日を通じての摂取量を把握している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症マニュアルが作成され職員がいつでも閲覧出来るよう管理されている。各ユニット毎に消毒液が置かれ感染予防に努めている。利用者のはうがい、口腔ケア、手洗いなどを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各ユニットごとの飾りつけ、観葉植物なども多く生活感や季節感があり、共有空間にはソファ、和室をイメージした空間も見られる。食堂から居室までの廊下には椅子なども置かれ一休み出来るよう工夫されている。台所は対面キッチンで利用者と会話したり見守りが出来るようになっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活歴などの状況を把握しながら利用者になじみのある家具や仏壇などが置かれ、居心地よく生活出来るよう支援されている。</p>		

 は、重点項目。